

◆早期教育相談では◆

- 残された視力を使って「よく見たい」
- 見えにくさを補うために「触って確かめたい」など意欲的に環境と関わっていく気持ちを乳幼児期から育てます。

❀このようなことはありませんか？

- ①見るとき、極端に目を近づけて見る。
- ②顔を傾けたり、顔をしかめたりして物を見る。
- ③暗い所や、明るすぎる所で行動しにくい。
- ④目の前で物を見せても目で追ったりつかもうとしたりしない。
- ⑤眼科でよく見えていないようだとされたが、どれくらい見えているかわからない。



早期教育では「見え方」に心配のある0歳～就学前までのお子さんの相談を行っております。少しでもご心配なことがありましたら、お気軽にご相談ください。



◆相談を希望する時は◆

- まず、お電話ください

☎029-221-3388

- 『早期教育相談をお願いします』とお伝えください。係の者がお話を伺います。



※相談料無料。相談内容については一切外部にもりません。
本校入学とは関係ありませんので、安心してご相談ください。
※相談への往路・帰路などの移動時の事故や、活動中のけが、病気等の事故は、個人の加入による保険での対応となります。

◆支援内容◆

〈保護者に対して〉

- お子さんの見え方や発達に合わせて、保護者の方と「子育て」「関わり方」「環境の整え方」など一緒に考えます。
- 適切な進路を選択するための情報提供及び相談に応じます。

〈お子さんに対して〉

- よく見たり、興味をもって触ったりする活動を通して「見るのが楽しい」「何でも触ってみよう」という気持ちを育てます。



目と手を使って「うまくできるかな」

- 必要に応じて視力測定や補助具（弱視レンズなど）の使用訓練をします。

- ❖ 弱視レンズには遠くを見るための単眼鏡や❖
- ❖ 近くを見るためのルーペなどがあります ❖



単眼鏡

- 月に1度、グループ活動を行います。小さい集団でお友だちと関わって遊びます。



ルーペ

〈保育園、幼稚園などの関係機関に対して〉

- 園の先生と相談しながら、在籍するお子さんがよりよい園生活を送れるように支援します。

〈その他〉

- グループ活動をとおして、保護者同士の交流を図ります。
- 先輩のお母さんの体験談を聞いたり、「見えづらさ」に関する情報提供をしたりします。

早期教育相談 について

「見え方」についてご心配やお困りの方
ご相談ください

早い時期から「見るのが楽しい」「何でも触ってみよう」という気持ちを育てることは、子どもたちの成長にとってとても大切です

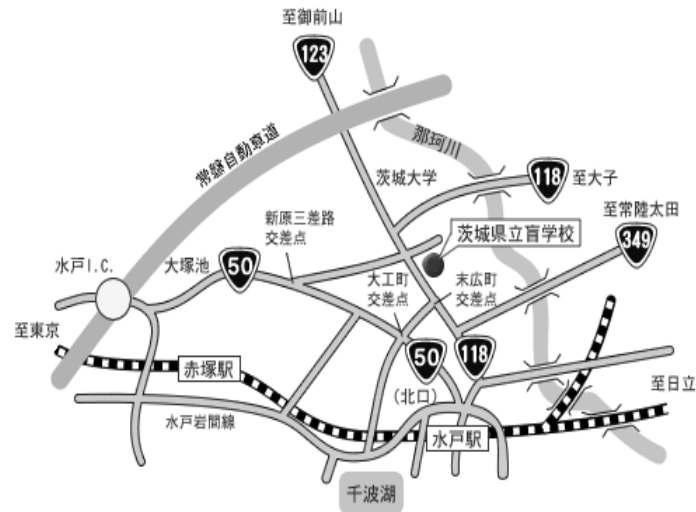


0歳から就学までの相談に応じております

茨城県立盲学校

視覚障害教育支援センター（早期教育相談）

学校までの道順



早期教育相談に関するお問い合わせ・相談は

茨城県立盲学校

視覚障害教育支援センター（早期教育相談担当まで）

〒310-0055 茨城県水戸市袴塚 1-3-1

TEL 029 (221) 3388

FAX 029 (225) 4328

E-mail : shien@ibaraki-sb.ibk.ed.jp